Ⅳ. 課題曲

事務局は、予備審査、第1次予選、第2次予選、本選の課題曲をそれぞれ設定する。
コンクール期間を通じて、伴奏楽器(ピアノ、チェンバロ、オーケストラ)のピッチは A=442Hz、第2次予選のチェンバロは平均律で調律するものとする。

1. 予備審査 (動画審査)

下記課題曲 2 曲を演奏し、動画を提出すること。

1) C. サン＝サーンス:オーボエ・ソナタ ニ長調 op.166 第 2・第 3 楽章

2) G. Ph. テレマン:ヴィオラ・ダ・ガンバのための《12 の幻想曲》より 幻想曲第 7 番 TWV 40:32
(H. シェレンベルガー編曲・オーボエ版)
[全楽章とも最初の繰り返しのみ]
【出版社:BEFOCO】

2. 第1次予選(日本での公開審査)

下記課題曲 2 曲を演奏すること。(曲順任意)

1) R. シューマン:アダージョとアレグロ op.70
【出版社: Peters】

2) H. ホリガー:無伴奏オーボエ・ソナタ (1956 rev. 1999) 第 1・第 4 楽章
【出版社:Schott】

3. 第2次予選 (日本での公開審査)

＜A＞＜B＞＜C＞のグループからそれぞれ 1 曲、計 3 曲を選択し、50 分のリサイタルを構成するように演奏すること(入退場と曲間を含めて 50 分以内に収めること)。なお無伴奏曲の選択は、最大 1 曲とする。(曲順任意)

＜A＞

1) J. S. バッハ:ソナタ ト短調 BWV1030b
[3 楽章のみ繰り返しなし]
【出版社:Peters】

2) J. S. バッハ:無伴奏フルート(オーボエ)のためのパルティータ イ短調 BWV1013
(イ短調またはト短調で演奏すること)
[全楽章とも最初の繰り返しのみ]
【出版社:Peters／Karthause-Schmülling】

3) C. Ph. E. バッハ: 無伴奏フルート・ソナタ イ短調 Wq. 132
[繰り返しなし]
【出版社:AMADEUS】

4) F. クープラン:《趣味の融合 または 新し いコンセール集》より
コンセール第 7 番、または第 11 番、または第 14 番
【出版社:Breitkopf & Härtel 】

＜B＞

1）A. ドラティ: オーボエのための5つの小品
【出版社：Boosey & Hawkes】

2）A. パスクッリ：ドニゼッティ「ポリウート」の主題による幻想曲
【出版社：Musica Rara (Breitkopf & Härtel) 】

3）G. シルヴェストリーニ：6 つの練習曲より 任意の 3 曲
【出版社：Delatour】

4）細川俊夫：《スペル・ソング―呪文のうた―》オーボエのための
「第 11 回 国際オーボエコンクール・軽井沢」のための公益財団法人ソニー音楽財団委嘱作品
【出版社：Schott】

5）G. パッジ：ベッリーニの思い出（演奏会用大幻想曲）op.16
【出版社：BEFOCO】

6）M. ドラニシニコワ：オーボエとピアノのための詩曲
【出版社：TrevCo Music Publishing】

＜C＞

W. A. モーツァルト：オーボエ協奏曲 ハ長調 K.314（285d）
［暗譜での演奏が望ましいが、楽譜の使用も認める。ピアノ伴奏］
【出版社：Breitkopf & Härtel (Henrik Wiese 校訂) ／ Henle (Ingo Goritzki 校訂) ／
最新の Bärenreiter (Frank de Bruine 校訂)* 】
*この版を使う場合には、“オッシア・ヴァージョン”を演奏すること

4. 本選（日本での公開審査）

以下の 2 曲を演奏すること。

1）A.ドラティ／協奏的二重奏曲
【出版社：Boosey & Hawkes】

2）R. シュトラウス：オーボエ協奏曲 ニ長調 AV144
［暗譜での演奏が望ましいが、楽譜の使用も認める。オーケストラ伴奏］
【出版社：Henle】

以上